9996818165 2018年4月









このたびは、エリーパワー製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
このユーザーマニュアル(以下、本書)には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本書をよく
お読みのうえ、正しく安全にお使いください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」をよく読み、理解したうえで本製品を
お使いください(なお、本書に記載されているイラストや画面例は、簡略化されたもので、実物とは異なることがあります)。本書は
必要なときにすぐ取り出して参照できる場所に大切に保管してください。
設置工事・保守点検に関しては、専門業者にお任せください。
なお、本製品には保証書が添付されています。保証書は、「保証開始日」「販売店名」リチウムイオン蓄電池ユニットおよびハイ
ブリッドパワーコンディショナの「製造番号」など必要事項が掲載されているかを確かめたうえで、大切に保管してください。「保証
開始日」「販売店名」リチウムイオン蓄電池ユニットおよびハイブリッドパワーコンディショナの「製造番号」などの必要事項が掲載
されていない場合は、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターへご確認をお願いします。

# 太陽電池とリチウムイオン電池の連携で、暮らしに安心と快適を。



## 本製品の型式

#### EPS-30S / EPS-30D

本製品は、太陽光発電と蓄電の機能を一体化した「ハイブリッド蓄電システム」です。太陽電池の 発電電力や商用電源から供給される電力をリチウムイオン電池に貯めて、必要なときに電気を活用 することができます。

また、太陽電池がない場合は、蓄電パワーコンディショナ(以下、「蓄電パワコン」)としても使用できます。

#### ご確認ください

●本製品には太陽電池は含まれません。太陽電池の仕様や取扱方法については、お買い上げの販売店へお問い合わせ ください。

●分電盤、分電盤の蓄電システム用ブレーカー、蓄電システム用コンセントの位置は、お買い上げの販売店または設置 工事を行った電気工事業者に本製品を使用前にご確認ください。本製品の引き渡しの際に、説明を受けられていない 場合は、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターへご確認をお願いします。

## システム構成について

ハイブリッドパワーコンディショナ(以下、「パワーコンディショナ」)、リチウムイオン蓄電池ユニット (以下、「蓄電池ユニット」)、リモコンの3つを併せて、「本製品」と呼びます。 パワーコンディショナと蓄電池ユニットを併せて、「蓄電システム本体」と呼びます。



※1 設置後の増設はできません。

※2 蓄電池ユニットを2台接続にした場合は、EPS-30Dとなります。

## 本製品の特徴

1	いつでも安定した電力を供給	2	停電時でも安定した電力を供給
本製品は、太陽光発電と蓄電の機能を一体化した「ハイ		本製	品は、停電時でも日射があれば発電することができ
場合は	、畜電ンステム」です。悪大候なとで日射重か少ない 、蓄電池ユニットがその電力を補い、太陽光発電のうち	よ9。  太陽	太陽電池とりテリムイオン電池の連携で、 査問は 電池から、夜間はリチウムイオン電池からというように
使わず余った電力(余剰電力)がある場合は蓄電池ユニット 自動的に電力を供給するので、どんな時間帯の停電			りに電力を供給するので、どんな時間帯の停電でも をす*1*2
に允單する」とで、安定した電刀供給を実現します。			с 9 <sub>о</sub>
3	蓄電池ユニットを最大2台まで接続可能	4	TUV-Sマークを取得したリチウムイオン電池を搭載
<b>3</b> 蓄電	<b>蓄電池ユニットを最大2台まで接続可能</b> 也ユニットを最大2台まで接続可能で、お客様の	<b>4</b> 蓄電	TUV-Sマークを取得したリチウムイオン電池を搭載 也ユニットに内蔵された大型リチウムイオン電池は、
<b>3</b> 蓄電 用途(	<b>蓄電池ユニットを最大2台まで接続可能</b> セユニットを最大2台まで接続可能で、お客様の こ合わせた電池容量を選択することができます。	<b>4</b> 蓄電 国際	TUV-Sマークを取得したリチウムイオン電池を搭載 也ユニットに内蔵された大型リチウムイオン電池は、 的認証機関TÜV Rheinland(テュフ ラインランド
<b>3</b> 蓄電 用途( 2台接	<b>蓄電池ユニットを最大2台まで接続可能</b> 也ユニットを最大2台まで接続可能で、お客様の こ合わせた電池容量を選択することができます。 そ続の場合は、電池容量が2倍となるため <sup>※3</sup> 、停電	4 蓄電ジ 国際E ジャノ	<b>TUV-Sマークを取得したリチウムイオン電池を搭載</b> 也ユニットに内蔵された大型リチウムイオン電池は、 的認証機関TÜV Rheinland(テュフ ラインランド ペン)の製品安全検査に合格し、世界で初めて <sup>※4</sup>
3 蓄電 用途( 2台接 時の電	<b>蓄電池ユニットを最大2台まで接続可能</b> 也ユニットを最大2台まで接続可能で、お客様の こ合わせた電池容量を選択することができます。 続の場合は、電池容量が2倍となるため <sup>※3</sup> 、停電 電力供給を長期間確保でき、もしもの時のバックアッ	<b>4</b> 蓄電ジ 国際E ジャバ TUV-	<b>TUV-Sマークを取得したリチウムイオン電池を搭載</b> 也ユニットに内蔵された大型リチウムイオン電池は、 的認証機関TÜV Rheinland(テュフ ラインランド ペン)の製品安全検査に合格し、世界で初めて <sup>※4</sup> -Sマークを取得しました。製品安全の11項目の

※1 太陽電池がなく、パワーコンディショナを蓄電パワコンとして使用する場合は、電池を使い切ると停止します。

※2使用可能時間は、使用環境などにより異なります。

※32台接続しても出力電力は増加しません。

※4 安全基準認証(リチウムイオンセルの過酷条件試験マニュアル v.2:2011)

# ハイブリッド蓄電システムを利用して、効率的な電力の活用を。

●太陽電池で発電した電力を優先的に売電したい
<ul> <li>●充放電時間を自分で決めたい</li> <li>「おサイフモード」で設定できます</li> </ul>
●太陽電池とリチウムイオン電池を使ってかしこく節電したい 「ecoモード」を利用できます
●災害時(大雪、台風など)に備えて電力をためたい 「バックアップモード」でリチウムイオン電池に電力をためることができます ▶20ページ
● 停電時に備えて電池残量を自分で決めたい 電池残量の使い切りレベルが設定できます・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
●停電時にも安心して電力を使いたい 自立運転で太陽電池とリチウムオン電池から電力を供給できます・・・・・ ▶21ページ

#### お使いの前に

安全にお使いいただくために・・・・・・・・・4	
ご利用に関するおねがい・・・・・・・・・・9	
ご利用前に必ずお読みください・・・・・・・・9	
遠隔出力制御ルールに関するおねがい・・・・・11 『パワーイエ・ファイブ・リンク	
ごあんしんサービス』加入のおねがい ・・・・・11	
システムの概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
システム構成・・・・・・・・・・・・・・・・・12	
各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14	
表示ディスプレイの見方・・・・・・・・・・・16	
通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作 19	
<b>通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作 19</b> 動作の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19	
<ul> <li>通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作 19</li> <li>動作の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	
<ul> <li>通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作 19</li> <li>動作の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	
<ul> <li>通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作 19</li> <li>動作の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	
<ul> <li>通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作・19</li> <li>動作の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	
<ul> <li>通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作・19</li> <li>動作の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	
通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作・19         動作の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作:19         動作の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

画面の明るさと点灯時間の設定・・・・・・・・	· 24
発電開始日の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 25
省エネアシスト目標の設定・・・・・・・・・・	· 26
電気代換算の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 27
運転モード切替えと設定・・・・・・・・・・・・	· 28
FW(ソフトウェア)更新方法の設定 ・・・・・・	. 30
停電時動作(自立運転の切り替え)の設定・・・	• 32
ネットワークの接続および設定・・・・・・・・	. 35

実績の確認・・・・・41

#### こんなときは

こんなときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5;	3
こんなときは $\cdots$ 5.	3
エラーメッセージが表示されたとき・・・・・・5	5
エラーメッセージー覧・・・・・・・・・・・5	6
異常や故障が発生したとき・・・・・・・・・5	7
長期間使用しない場合のおねがい・・・・・・5	8
製品の移設・譲渡・利用の終了について・・・・5	8
<b>定期点検とお手入れ</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・60	0
定期点検について・・・・・・・・・・・・・・・・・・6	0
お手入れ方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・6	0
保証とアフターサービス · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1
修理・使い方について・・・・・・・・・・・・・・6	1
制口什样。	_

安全にお使いいただくために

本書では、本製品を使用される人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためにお守りいただきたいことを、以下のシンボルマークで説明しています。

内容をよく理解されたうえで本書をお読みになり、記載された内容をお守りのうえ使用してください。

# 安全性に関する注意事項

本書では、誤った取り扱いをした際に生じる危害の頻度とその程度を、次の区分で説明しています。



本文中や本製品に使われている注意事項の意味は、次のとおりです。

<b>※</b> 止	分解禁止	火気禁止	上にのるな
水ぬれ禁止	ぬれ手禁止	警告や注意の           喚起	免火注意
感電注意	手をはさまない よう注意	<ul><li>必ず指示を</li><li>守る</li></ul>	アースを接続する

# 安全上のご注意

▲警告		
$\bigcirc$	異常や故障が発生した状態のまま放置しない 蓄電システム本体から異常な音や臭い、煙などが発生した場合やリモコンが機能不全となった場合は、 ただちにお買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。連絡後は、 本製品には触らないでください。感電やけがのおそれ、本製品の故障の原因になります。	
$\bigcirc$	極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しない 上記用途については「使用上のおねがい」(P.10)をご参照ください。	
$\bigcirc$	<b>雷が鳴りだしたら、蓄電システム本体に触れたり、周囲に近づいたりしない</b> 落雷による感電のおそれがあります。	
0	<b>分電盤の蓄電システム用ブレーカーの位置を確認する</b> 本製品に異常が発生した際にご確認をお願いする場合があるので、分電盤内のいずれのブレーカーに 本製品が接続されているかを、お買い上げの販売店または設置工事を行った電気工事業者に事前に 確認してください。	
$\bigcirc$	<b>蓄電システム本体のパネルやカバーを開けたり、接続されているケーブルや配管を</b> 外したりしない 感電やけが、および本製品が破損するおそれがあります。	

▲警告		
	本製品を分解、改造、加工しない 感電やけがのおそれ、火災、故障の原因になります。	
$\bigcirc$	電解液が漏れ出したら触らない 感電やけがのおそれがあります。 お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご依頼ください。	
$\bigcirc$	お客様自身による修理や移設、再設置をしない 感電やけがのおそれ、火災、本製品の故障の原因になります。 修理や移設、再設置が必要な場合には、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターに ご依頼ください。	
$\bigcirc$	本製品を海外で使用しない 本製品は、日本国内仕様です。日本国仕様品を国外で使用すると、電圧、使用環境が異なるため、発 煙、発火の原因になることがあります。	
$\bigcirc$	<ul> <li>蓄電システム本体の放熱を妨げない</li> <li>蓄電システム本体の周囲に放熱の障害となる物を置いたり、パワーコンディショナの放熱穴をふさいだりしないでください。放熱を妨げると、蓄電システム本体内部の温度が上昇し、本製品の誤動作・故障、火災の原因になります。</li> <li>蓄電システム本体の周辺には、下記のスペースを確保してください。放熱穴については「各部の名称」(P.14)をご参照ください。</li> <li>パワーコンディショナ</li> <li>上面5cm以上、正面60cm以上、両側面20cm以上、下面30cm以上</li> <li>蓄電池ユニット</li> <li>上面30cm以上、正面20cm以上、側面(DCスイッチ有)30cm以上、側面(DCスイッチ無)60cm以上、背面10cm以上</li> </ul>	
	<b>蓄電システム本体の近くにガス類の容器や引火物を置かない</b> 蓄電システム本体が発火するおそれがあります。	
	<b>蓄電システム本体に火気を近づけない</b> 蓄電システム本体が発火するおそれがあります。	
	<b>蓄電システム本体の上に乗ったり、寄りかかったりしない</b> 蓄電システム本体の故障やけがの原因になります。	
$\bigcirc$	本製品に物を投げたり、上から物を落としたりしない 本製品の破損による断線、漏電、本製品の故障の原因になります。	
$\bigcirc$	<b>リモコンに接続されているケーブルおよび配管に無理な力やダメージを与えない</b> ケーブルの破損による断線、漏電、また蓄電システム本体の故障の原因になります。	
ļ	<b>アースとの接続(接地)を確実にする</b> 蓄電システム本体を、アースを接続しない状態で使用すると、故障や漏電があった場合に感電するお それがあります。 指定工事業者による電気工事が電気設備基準および内線規程に基づいて、アースとの接続が確実に 行われていることを、当該工事業者に確認してください。	

お使いの前に

	⚠注意
0	<b>蓄電システム本体の据付け状態を確認する</b> パワーコンディショナは壁面に、蓄電池ユニットはコンクリート基礎に正しく固定されている状態で使用 してください。 なお、地震や強風により、蓄電システム本体の固定にゆるみなど異常が発生することがあります。そのまま の状態で使用した場合、蓄電システム本体の転倒によるけが、蓄電システム本体の故障の原因になり ます。据付け状態に異常がある場合は、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターに ご連絡ください。
0	<b>蓄電システム本体が水に浸かるおそれのある場合は、蓄電システム本体に近づかない</b> 蓄電システム本体の内部に水が浸入した場合、漏電による火災や感電、本製品の故障の原因になります。 なお、一度水に浸かった蓄電システム本体は使用できません。
$\bigcirc$	水はけが悪く、水没するおそれのあるところに蓄電システム本体を設置しない 蓄電システム本体の内部に水が浸入した場合、漏電による火災や感電、本製品の故障の原因になります。
$\bigcirc$	<b>蓄電システム本体を高圧洗浄機などで水洗いしない</b> 蓄電システム本体の内部に水が浸入した場合、漏電による火災や感電、本製品の故障の原因になります。
$\bigcirc$	<b>蓄電システム本体の放熱穴などに異物を混入したり、指や棒を差し込んだりしない</b> 蓄電システム本体の放熱穴などに異物を挿入したり、指や棒を差し込んだりしないでください。 感電やけがのおそれ、また蓄電システム本体の故障の原因になります。 放熱穴については「各部の名称」(P.14)をご参照ください。
$\bigcirc$	本製品の周囲で薬剤を散布しない 本製品が腐食、変質、変色するおそれがあります。また、本製品の内部に薬剤が侵入した場合、本製品 の故障の原因になります。
$\bigcirc$	本製品の近くに蒸気、油煙などを出す機器を置かない 本製品の故障の原因になります。
	<b>分電盤を濡れた手で操作しない</b> 感電やけがのおそれがあります。
	<b>リモコンに水などの液体をかけない</b> リモコンは防水タイプではないため、内部に水などの液体が混入した場合、漏電による火災や感電、 リモコンの故障の原因になります。
$\bigcirc$	リモコンをアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤で拭かない リモコンの変形、変質による故障の原因になります。
$\bigcirc$	<b>リモコンに物を引っかけたり、ぶらさげたりしない</b> リモコンが破損したり、壁面から外れて落下するおそれがあります。
$\bigcirc$	定格出力以上の機器を接続しない 分電盤の蓄電システム用ブレーカーが作動したり、本製品が正常に動作しないおそれがあります。定格 出力については「製品仕様」(P.63)をご参照ください。

お使いの前に

⚠注意		
$\bigcirc$	<b>仕様から外れた環境で使用しない</b> 本製品が正常に動作しない、または故障のおそれがあります。使用環境については「製品仕様」(P.63) をご参照ください。	
$\underline{\land}$	子供やペットがいたずらしないように注意する けがや事故、本製品の故障の原因になります。	
	<b>蓄電システム本体の周囲に落ち葉がたまらないようにする</b> 周囲に落ち葉などがあると、小動物や虫などが集まりやすくなります。小動物や虫などが蓄電システム 本体に侵入して内部の電気部品に触れると、火災や故障の原因になります。	
	<b>蓄電システム本体が雪に埋まらないようにする</b> 周囲の雪が解け、蓄電システム本体の内部に水が浸入した場合は、漏電による火災や感電、本製品の故障 の原因になります。なお、一度水に浸かった蓄電システム本体は使用できません。	
	本製品の運転中や停止直後はパワーコンディショナに触らないようにする 周囲の環境や運転状況によりパワーコンディショナのパネルが高温になっている場合があります。	

## 災害時の本製品の取り扱い上の留意点

#### 重要

#### 災害によって被害を受けた場合の本製品の取り扱い上の留意点

本製品が、地震や建物の倒壊などにより変形、破損、ヘこみなど衝撃を受けた形跡がある場合、 水没または水に濡れた場合、瓦礫の中に埋もれた場合は、その程度によって感電、発熱・発火、 有害ガス発生などの危険を生じる場合があります。

二次災害を未然に防ぐためにも、以下内容に留意し適切な取り扱い、措置等をお願いします。 <処置方法 ~触らず、近づかないでください~>

- 被災した本製品には絶対に手で触れず、近づかないでください。家庭や事務所等の分電盤 ブレーカーが切れていても、内蔵の電池に電気が残っていますので、感電の危険があります。
- 接続機器を使用中の場合は、直ちに使用を中止してください。

● 内蔵の電池から電解液が漏れ出ている場合は、絶対に触らないでください。誤って手で触れたり目や口に入った場合は、大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

●本製品が水没、または浸水した後、水が引いた状態でも危険な場合がありますので、絶対に 手を触れず、近づかないでください。

#### <保管方法>

可能であれば、以下の処置をしてください。

- 分電盤ブレーカーを落としてください。
- 周囲に可燃物がある場合は取り除いてください。
- ブルーシート等で雨や水がかからないようにしてください。
- "触るな"等の注意喚起の張り紙をするなど、人が近づかないようにしてください。
- 蓄電システム本体の上や周囲に何も置かないでください。
- 落下物、転倒物などから衝撃を受けないような処置をしてください。
- <連絡>
- 速やかにお買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターまでお問い合わせください。

に

# ご利用前に必ずお読みください

※3本製品の点検、蓄電池ユニットの停止もしくは撤去、太陽光発電用パワーコンディショナとして継続運用する際の設定 変更など、弊社指定作業者による現地作業は有償での対応となります。

# リチウムイオン電池の劣化について

リチウムイオン電池の充電・放電は化学反応を利用しているため、温度に大きく左右される特徴が あります。運転モードや環境など、使い方によりリチウムイオン電池の劣化度合は異なります。 周囲温度が高い場所や直射日光があたる場所で長時間使用しますと、リチウムイオン電池の 劣化が早まります。推奨設置環境の範囲内で最も長くご利用いただけます。推奨設置環境は 10℃~30℃です。



太陽電池の発電量は、天候により変化します。実際の 発電は、日射強度や周囲温度、太陽電池が設置されて いる方位や角度により異なるため、晴天日であっても 常時発電が行われているわけではありません。



9

お使い

の前

に

## 本製品からの電力供給について

- ●一般的に電気機器においては、定格出力以内で使用している場合でも、起動時などに定常電流値を超えて大きな電流が流れることがあります。停電発生時、本製品にこのような電気機器が接続されて使用できる電力を上回った場合、安全のため自動的に運転を停止し電力供給をしゃ断します。このようなときは、速やかに接続機器を減らしてください。
- ●停電発生時の電力供給は蓄電システム用コンセントのみとなります。

●停電発生時に使用できる電力は最大で2.0kWまでです。また、蓄電池ユニットからの電力 供給がなく、太陽電池で発電した電力のみを使用する場合は、天候により出力が不安定に なることがあります。消費電力が使用できる電力を上回った場合、本製品は安全のため自動的 に運転を停止し電力供給をしゃ断します。このようなときは、速やかに接続機器を減らして ください。

●本製品は停電を感知すると自動的に停電時の運転(自立運転<sup>\*\*1</sup>)を開始し、約10秒後 に蓄電システム用コンセントに電力を供給します<sup>\*\*2</sup>。また、停電から復帰した時は自動で通常 時の運転(連系運転<sup>\*\*1</sup>)に戻ります。

※1 連系運転および自立運転については「通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作」(P.19)をご参照ください。 ※2 初期設定は自動切り替えです。リモコンのボタン操作による手動切り替えも選択できます。

# 使用上のおねがい

- ●本製品は以下に例示するような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に直接使用しないでください。
  - ・人命に直接関わる医療機器やシステムとの接続
  - ・本製品の故障により、社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある機器との接続 ・灯油やガスを用いた暖房機器との接続
  - ・デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器との接続

 ・その他、電源が切れると生命、人身の安全および財産に損害を与えるおそれのある機器との接続
 ●本製品の不具合、故障または損傷に起因して本製品以外に生じた不具合、故障および損傷 (機器内記録データの損失を含む)ならびに本製品が使用できないことによる停電や発電量 損失、関連して発生したお客様の損失および不利益(電気代、売電収入の減少など)の補償 は一切いたしません。

- ●本製品は、ノイズを発生する部品を搭載しているため、電磁波が発生します。
  - ・植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医療用電気機器に 一時的な影響を与えるおそれがあります。医療機器の製造事業者および医療機関に電磁波 による影響について確認してください。
  - ・TV・ラジオ・携帯電話、その他電気的雑音の影響を受けやすい電気機器などは本製品 の近くで使用しないでください。

# 遠隔出力制御ルールに関するおねがい

#### 省令改正に伴う新たな遠隔出力制御ルールに関するおねがい

本製品は、平成27年1月26日に改正された再生可能エネルギー特別措置法による新たな 遠隔出力制御ルールに対応した機器です。再生可能エネルギーを最大限に導入するため電力 会社の求めがあった場合、遠隔出力制御を行う機器の設置が義務付けられました。省令改 正の詳細は経済産業省のホームページをご参照ください。(http://www.meti.go.jp/) 本製品は電力会社の遠隔出力制御に対応するために、インターネットへの接続が必要です。 また、機器の設定作業のため設置場所に弊社指定作業者が赴くことがあり、その際の作業費用を お客様にご負担いただく場合があります。

※ネットワークへの接続については「ネットワークの接続および設定」(P.35~40)をご参照ください。

# 『パワーイエ・ファイブ・リンク ごあんしんサービス』加入のおねがい

エリーパワー株式会社では、本製品をより長く使用いただくために、本製品のお客様を対象として、 「ごあんしんサービス」への加入をおねがいしています。「ごあんしんサービス」の内容および加入の 方法については、本製品に同梱された『ごあんしんサービスのご案内』をご参照ください。



システム構成

# 各部の名称とはたらき

本製品をご家庭で使用するにあたっての全体のシステム構成例を以下に示します。



※通信装置(付属品)のネットワーク構成については「ネットワークの接続および設定」(P.35)をご参照ください。

名 称		機能や役割
1	<b>蓄電池ユニット<sup>※</sup></b>	本製品を構成する設備です。リチウムイオン電池(以下、蓄電池)を搭載 しています。
2	パワーコンディショナ*	本製品を構成する設備です。蓄電池ユニット、太陽電池、商用電源の電力をコントロールします。パワーコンディショナ単体で太陽光 発電用パワーコンディショナとして使用できます。 また、太陽電池がない場合は、蓄電パワコンとしても使用できます。
3	リモコン*	本製品を構成する設備です。運転状況をお知らせする表示ディスプレイ と、パワーコンディショナのコントローラーを兼ねています。 蓄電量の確認や充電・放電時間の設定などは、このリモコンで行います。 宅内の壁面に設置され、パワーコンディショナと壁内の配線で接続されて います。
4	通信装置(付属品)	本製品をインターネット回線に接続するため、および建物内の他の機器 との連携をするための装置です。
5	分電盤	電力会社との契約アンペアの確認や屋内配線の安全確保などの役割 を担う設備です。 建物内の配線や電気機器の漏電、ショート、使い過ぎによる過電流を 監視し、異常時には電力を自動的にしゃ断する設備(ブレーカー)が 搭載されています。
6	蓄電システム用コンセント	停電時に本製品からの電源供給が行われるように設定されたコンセント です。通常時も使用できます。
1	一般用コンセント	蓄電システム用コンセント以外のコンセントです。 停電時における本製品 からの電力供給は行われません。
8	商用電源	電力会社から供給される電源です。
9	太陽電池	太陽光エネルギーを直流電力に変換します。 パワーコンディショナを蓄電パワコンとして使用する場合は、接続は 不要です。

※本書では、①、②の組み合わせを「蓄電システム本体」と呼びます。 ※本書では、①、②、③の組み合わせを「本製品」と呼びます。



🖝 メモ・・・・

- ●太陽電池に関するお問い合わせは、太陽電池の販売店または施工会社にお問い合わせください。 ●本製品と他の太陽光発電システムを同じ建物に設置する場合は、本製品お買い上げの販売店 またはエリーパワーカスタマーセンターにお問い合わせください。
- ●本製品と燃料電池との接続については、推奨エネファームとの連携動作が可能です。連系確認機種に ついてはお買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにお問い合わせください。

#### ご 確 認ください

蓄電システム用コンセント、一般用コンセントの位置については、お買い上げの販売店または設置工事を行った電気 工事業者に本製品を使用前にご確認ください。

本製品の引き渡しの際に説明を受けられていない場合、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンター へご確認をお願いします。

各部の名称

お使いの前に





## リモコン

リモコンは、運転状況をお知らせする表示ディスプレイと本製品のコントローラーを兼ねています。 蓄電量の確認や充電・放電時間の設定などは、このリモコンで行います。



#### ①表示ディスプレイ

ー定時間で自動的に消灯します。再度点灯させる場合は、[操作]ボタン、または[運転/停止] ボタンのいずれかを押します。

#### ②ボタン表示エリア

表示エリア下の操作ボタンで実行できる機能が表示されます。 (画面によって表示(機能)が変わります)

#### ③操作ボタン

ボタンを押すと、ボタン表示エリアに表示されている機能を実行します。 (表示ディスプレイが消えているときにいずれかのボタンを押すとトップ画面が表示されます)

#### ④連系/自立ボタン

パワーコンディショナの運転状態(連系運転/ 自立運転)をランプの点灯・点滅により確認しま す。表示ディスプレイの消灯中も確認できます。

表示	状態	
緑点灯	連系運転中	
赤点灯	自立運転中	
赤点滅	自動停止中	
消灯	自立手動停止中、連系手動停止中、 連系準備中、自立準備中	

#### ⑤運転/停止ボタン

本製品の運転/停止を操作します。また連系運転 中はランプの色により買電/売電状態を確認 できます。停電時に、太陽電池または蓄電池が 利用できない(残量ゼロ/接続なし/異常時) 場合は操作が無効になります。

表示	状態
緑点灯	売電
赤点灯	買電
治生	自立手動停止中、連系手動停止中、
/月/八]	連系準備中、自立準備中

表示ディスプレイの見方

## トップ画面の見方

トップ画面は、運転時に表示される基本画面です。

現在の運転状態、太陽電池の発電電力、蓄電池からの充電・放電電力、電力会社からの買電・ 売電電力を確認できます。

※表示ディスプレイに表示される蓄電池残量や放電可能時間は目安です。



#### ①現在日時

現在の年月日時刻を表示します。19時から5時の間は、画面の背景が変わります。

#### ②運転モード

連系運転時の運転モード(おサイフモード、eco モード、バックアップモード)の中で現在の運転 モードを表示します。

#### ③運転状態

パワーコンディショナの運転状態を表示します。

#### ④状態の表示

パワーコンディショナの状態(FW更新あり、電圧抑制、温度抑制など)のメッセージを表示します。 正常動作時は、表示されません。

#### ⑤エラーコード

エラー発生時にエラーコードが表示されます。正常動作時は、表示されません。表示されるエラー コードについては「エラーメッセージー覧」(P.56)を参照してください。

## ⑥電力

電力を表示します。表示内容は、以下となります。

表示部位	表示	内容
Α	発電 発電 2.50m	現在、太陽電池で発電している電力を表示しています。 パワーコンディショナを蓄電パワコンとして使用される場合は、 非表示となります。
В	充電・放電・待機・故障         充電       放電         1。50 mm       0。50 mm         待機       故障         。。       。	現在、蓄電池が充電している電力または、放電している電力を 表示しています。 充電しているときは「充電」、放電しているときは「放電」、充放電 を停止しているときは「待機」の表示になります。また、蓄電池が 故障し、停止している場合には「故障」の表示になります。
С	<b>買電・売電</b> 受電 3.00m 3.00m	電力会社に売っている電力、または電力会社から買っている 電力を表示しています。 電力を売っているときは「売電」、電力を買っているときは「買電」 の表示になります。
D	消費 消費 3.00m	現在、ご家庭で消費している電力を表示しています。 本製品以外の発電設備を併設している場合は、「消費」の電力値 のみ非表示となります。

※連携している他の機器のディスプレイの表示と発電量などの数値が異なる場合があります。

※本製品以外の発電設備を併設している場合は、A、B、Cの各電力値が正しく表示されない場合があります。

お

使

いの

前に



放電を停止します。

蓄電池残量のレベルを0~5までの6段階 で設定できます。

※蓄電池が満充電のときを10とした場合の目安です。

※バックアップモードを選択している場合は、表示され ません。

表示	状態
連系運転中	連系運転中に表示されます。
	パワーコンディショナに電源が
自動停止中	投入されていないときに表示
	されます。
海玄淮供山	運転開始を準備しているときに
進术竿傭中	表示されます。
連系手動	連系運転を停止したときに表示
停止中	されます。

## 停電時(自立運転)の表示



#### ①放電可能時間表示

30分単位で表示します。 ※放電可能時間は目安です。

表示	状態	
30分未満	放電可能時間は30分 未満です。	
一分	放電していません。	

#### 2 蓄電池残量表示

蓄電池残量レベルを表示します。

#### ③運転状態

表示	状態	
白云海起山	自立運転中に表示され	
	ます。	
白云淮供山	自立運転の開始を準備し	
日立华佩中	ているときに表示されます。	
白云毛動信止中	自立運転を停止したときに	
日立于勤停止中 	表示されます。	

# 通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作

# 動作の紹介

本製品には、2つの運転動作があります。

名称	説明
連系運転	通常時(停電時以外)の運転動作 「おサイフモード」「ecoモード」「バックアップモード」の、3つの運転モードが選択できます。
自立運転	停電時の運転動作 自立運転を手動設定にしている場合を除き、停電時に自動で自立運転に切り替わり、太陽電 池と蓄電池が連携し、電力を供給します。復電時も自動で連系運転に切り替わります。

# 連系運転時の動作

連系運転では、蓄電池と太陽電池を併用します。ダブル発電<sup>※</sup>を防止しながら昼間に太陽電池で 発電した電力を有効活用することができます。

連系運転の運転モードには、「おサイフモード」「ecoモード」「バックアップモード」があり、発電した 電力の活用方法に応じて選択することができます。

運転モードの選択方法については、「運転モード切替えと設定」(P.28、29)をご参照ください。

※ダブル発電とは、太陽電池と他の発電設備(蓄電池など)を組み合わせることで、太陽電池の売電を押し上げる効果のことです。 ダブル発電による押し上げ効果がある場合、売電価格が引き下げられます。燃料電池と併設している場合は、ダブル発電になり ます。

- ●本製品で系統連系を行うためには、お客様ご自身による電力会社との契約が必要 となります。
- ●連系運転(通常時)は、太陽電池と蓄電池からの放電は家全体に最大5.8kVA(5.5kW) までの電力供給を行います。それ以上の電力供給が必要な場合は電力会社からの電力 供給となります。



ecoモード

- ●太陽電池の発電電力で、使わず余った電力(余剰電力)は蓄電池に充電します。
- ●ecoモードは、原則として商用電源からは充電しません。
- ●パワーコンディショナを蓄電パワコンとして使用される場合は、選択できません。
- 蓄電池に充電した電力は、電力使用量に対して太陽電池の発電電力が不足している場合に放電 します。



#### バックアップモード

時刻や日射量に関係なく、満充電になるまで蓄電池に充電します。

※発電分で足りない場合は商用電源から使用します。充電量を超えた発電電力は売電します。

# 自立運転時の動作

自立運転では、太陽電池と蓄電池が連携し、電力を供給します。使わず余った電力(余剰電力)は 蓄電池に充電します。電力使用量に対して、太陽電池の発電電力が不足している場合は、蓄電池 から放電します。停電から復帰した場合は、自動的に連系運転に切り替わります。



●設定によって、自立運転開始時の動作が異なります。

型式	停電時動作	参照
	自動	P.33
LF3-303 / LF3-300	手動	P.34

▲ ●自立運転時は、蓄電システム用コンセントに電力が供給されます。一般用
 コンセントへ接続されている機器は使用できません。

●本製品は停電発生時に約10秒間出力が停止します。復電後は出力を開始 するまでに約5秒間かかります。

●停電時動作設定が手動の場合、自動では本製品から出力しません。

●停電発生時に使用できる電力は最大で2.0kWまでです。また、蓄電池ユニットからの電力供給がなく、太陽電池で発電した電力のみを使用する場合は、天候により出力が不安定になることがあります。消費電力が使用できる電力を上回った場合、本製品は安全のため自動的に運転を停止し電力供給をしゃ断します。このようなときは、接続機器を減らすことにより、継続使用できる場合があります。

メモ・・

●自立運転時の発電および放電電力は、天候や蓄電池の状態、接続機器の消費電力に より変動します。

# はじめてお使いになるときは

ここでは、本製品の使用開始時の操作手順について説明します。以下の手順にしたがって、使用開 始の操作を行います。一度運転を開始させると、運転モードに従い、日射量・時刻・蓄電池残量 などに応じて自動的に運転しますので、毎日の運転操作は不要です。

#### 蓄電池ユニットのDCスイッチがオンになっていることを確認します。

DCスイッチの操作については「DCスイッチの操作方法」(P.55)をご参照ください

#### ✔ 分電盤の蓄電システム用ブレーカーがオンになっていることを確認します。

#### ご確認ください

分電盤、分電盤の蓄電システム用ブレーカーの位置は、製品の使用前にお買い上げの販売店または設置工事を 行った電気工事業者にご確認ください。

2018/4/110:00

設定



## 🤦 各種設定を行います。

日時や画面の明るさなどの設定を行います。 設定方法については「各種設定」の「日時の 設定」~「電気代換算」(P.23~27)をご参照 ください。

5 運転モードを設定します。 運転モードの設定方法については「運転モード 切替えと設定」(P.28、29)をご参照ください。

- [運転 / 停止] ボタンを押します。

運転状態が「連系準備中」に変わることを 確認します。



● メモ・・・



わり 連系手動停止中

買電

3.00xm

4

お知らせ

0.00m

消費

3.00m

実績

●[運転/停止]ボタンを押して連系運転を開始すると、「連系準備中」が数分間表示されます。 ●ネットワークへの接続については「ネットワークの接続および設定」(P.35~40)を ご参照ください。



# 日時の設定

日時を設定する場合は、以下の操作を行います。蓄電池ユニットがネットワークに接続されている場合、日付、時刻が自動的に修正されます。

トップ画面で [設定] ボタンを押します。 「設定」メニュー画面が表示されます。

🎾 [↓] ボタンで「日時」を選択し、[決定] ボタンを押します。

「日時設定」画面が表示されます。

**3** [→] ボタンで変更する数字を選択し [値変更] ボタンを押して修正します。

> [戻る]ボタンを押すと、日時を設定せず、 「設定」メニュー画面に戻ります。



#### 4 日時を入力したら [→] ボタンで「日時 決定」を選択し、[決定] ボタンを押し ます。

確認画面に"日時を変更してよろしいです か?"と表示されます。

5 画面の内容を確認して [決定] ボタンを押します。

日時が設定され、「設定」メニュー画面に戻ります。

[戻る]ボタンを押すと、日時を設定せず、 「日時設定」メニュー画面に戻ります。



●遠隔出力制御の対象の場合は、日時の設定に制限があります。

# 画面の明るさと点灯時間の設定

画面の明るさ・点灯時間を設定する場合は、以下の操作を行います。

トップ画面で[設定]ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

【↓】ボタンで「画面の明るさ」を選択し、[決定]ボタンを押します。
「画面の明るさ設定」画面が表示されます。

#### 3 [値変更] ボタンで画面の明るさを選 択し、[決定] ボタンを押します。

「画面点灯時間設定」画面が表示されます。 [戻る]ボタンを押すと、画面の明るさを設定 せず、「設定」メニュー画面に戻ります。



#### 4 [値変更] ボタンで点灯時間を選択し、 [決定] ボタンを押します。

確認画面に変更内容と"この内容でよろしい ですか?"と表示されます。[戻る]ボタンを 押すと、点灯時間を設定せず、「画面の明るさ 設定」画面に戻ります。



5 画面の内容を確認して [決定] ボタンを押します。 画面の明るさや点灯時間が反映され、「設定」メニュー画面に戻ります。 [戻る]ボタンを押すと、画面の明るさや点灯時間を設定せず、「画面の明るさ設定」画面に 戻ります。

# 発電開始日の設定

発電開始日を設定する場合は、以下の操作を行います(本製品の設置工事の際に、発電開始日が 設定されている場合があります)。設定した日付が実績の数値に反映されます。実績については「実 績の確認」(P.41)をご参照ください。

トップ画面で[設定]ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

## ♀[↓]ボタンで「発電開始日」を選択し、[決定]ボタンを押します。

「発電開始日設定」画面が表示されます。

**3** [→] ボタンで変更する数字を選択し、 [値変更] ボタンを押して修正します。

> [戻る]ボタンを押すと、発電開始日を設定 せず、「設定」メニュー画面に戻ります。

4 発電開始日を入力したら [→] ボタンで「開始日決定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

> 確認画面に"この日付でよろしいですか?"と 表示されます。



2018/4/112:00

発電開始日設定

開始日決定

戻る

2018年04月01日

5 画面の内容を確認して [決定] ボタンを押します。 発電開始日が設定され、「設定」メニュー画面に戻ります。

[戻る]ボタンを押すと、発電開始日を設定せず、「発電開始日設定」画面に戻ります。

連系運転中

値変更

# 省エネアシスト目標の設定

省エネアシストは、1ヶ月の目標電力消費量に対して実際の消費量が、どれだけ節約できたかを確 認できる機能です。省エネアシスト目標を設定する場合は、以下の操作を行います。

トップ画面で[設定]ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

[↓] ボタンで「省エネアシスト」を選択し、[決定] ボタンを押します。 「省エネアシスト目標設定」画面が表示されます。

[→] ボタンで変更する数字を選択し、 [値変更] ボタンを押して修正します。

[戻る]ボタンを押すと、省エネアシスト目標を 設定せず、「設定」メニュー画面に戻ります。



「目標値決定」を選択し、[決定] ボタン を押します。

目標値が設定され、「設定」メニュー画面に 戻ります。

戻る 決定

# 電気代換算の設定

電気代換算設定では、発電量・消費量を電気代に換算して、確認することができます。換算用の電気代 (買電料金は4つの時間帯で設定できる、売電料金は1つのみ)を設定する場合は、以下の操作を 行います。

**1** トップ画面で [設定] ボタンを押します。 「設定」メニュー画面が表示されます。

2 [↓] ボタンで「電気代換算」を選択し、[決定] ボタンを押します。

「電気代換算値設定」画面が表示されます。

**3** [値変更] ボタンで数値を変更し、[次 項目] ボタンを押します。

> 各項目の数値を確定し、次の桁または、項 目に移動します。 [戻る]ボタンを押すと、変更された内容を設 定せず、「設定」メニュー画面に戻ります。

## **4**「換算値決定」を選択して、[決定] ボタンを押します。

確認画面に"この設定でよろしいですか?"と 表示されます。

# **う** 画面の内容を確認して [決定] ボタン を押します。

換算用の電気代が反映され、「設定」メニュー 画面に戻ります。 [戻る]ボタンを押すと、変更された内容を設定

せず、「電気代換算値設定」画面に戻ります。

電気代換算値設定	
基本料金 買電(00時-00時) 買電(00時-00時) 買電(00時-00時) 買電(00時-00時) 売電 換算値決定	0000円 00.0円/kWh 00.0円/kWh 00.0円/kWh 00.0円/kWh 00.0円/kWh
戻る、次項目	▋【値変更】
2018/4/112:00	連系運転中
2018/4/112:00 電気代換算値設定	連系運転中
2018/4/112:00 電気代換算値設定 基本料金 買電(00時-00時) 買電(00時-00時) 買電(00時-00時) 買電(00時-00時) 買電(00時-00時) 売電 換算値決定	連系運転中 0000 円 00.0 円 /kWh 00.0 円 /kWh 00.0 円 /kWh 00.0 円 /kWh 00.0 円 /kWh
2018/4/112:00         電気代換算値設定         基本料金         買電(00時-00時)         原る	連系運転中 0000 円 00.0 円 /kWh 00.0 円 /kWh 00.0 円 /kWh 00.0 円 /kWh 00.0 円 /kWh

2018/4/112:00

連系運転中

# 運転モード切替えと設定

運転モードには「おサイフモード」「ecoモード」「バックアップモード」があり、用途に応じて選択できます。 運転モードを切り替える場合は、以下の操作を行います。

トップ画面で[設定]ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

【↓】ボタンで「運転モード切替え」を選択し、[決定]ボタンを押します。
「運転モード設定」画面が表示されます。

2018/4/112:00

運転モード設定 運転モ<u>ード:</u>

充電開始時間

充電終了時間

放電開始時間

放電終了時間

表示值確定

戻る

使い切りレベル

連系運転中

変更

おサイフモー

23 時

10時

23 時

3

Ţ

7時

3 運転モードを選択し、[変更] ボタン を押します。

> 充電時間や使い切りレベルなどの設定が可 能な運転モードの場合は、[↓]ボタンで各項 目にカーソルが移動します。 [戻る]ボタンを押すと、運転モードを設定せず、 「設定」メニュー画面に戻ります。

> 運転モードによっては設定できない項目が あります。各運転モードで設定項目は以下 の通りです。

設定項目	おサイフ	есо	バックアップ
充電開始時間	0	×	×
充電終了時間	0	×	×
放電開始時間	0	×	×
放電終了時間	0	×	×
使い切りレベル	0	0	×

# ↓ [↓]ボタンで変更したい項目を選択し、[変更]ボタンを押します。

選択した項目の値が設定されます。

- ·充電開始時間:0~23 時(初期值:23)
- ·充電終了時間:0~23 時(初期値: 7)
- ·放電開始時間:0~23 時(初期值:10)
- ·放電終了時間:0~23 時(初期值:23)
- ・使い切りレベル:0、1、2、3、4、5 段階(初期値:3)



# 5 [↓] ボタンで「表示値確定」を選択し、[決定] ボタンを押します。 確認画面に"運転モードを変更してよろしいですか?"と表示されます。

画面の内容を確認して [決定] ボタンを押します。

運転モードが設定され、「運転モード設定」画面に戻ります。 [戻る]ボタンを押すと、運転モードを設定せず、「運転モード設定」画面に戻ります。

●「おサイフモード」「ecoモード」「バックアップモード」の詳細は、「連系運転の運転モードの解説」(P.20)をご参照ください。

. . . . . .

. . . . . . . . . . . . . . .

# FW(ソフトウェア)更新方法の設定

FW(ソフトウェア)の更新方法を設定する場合は、以下の操作を行います。更新方法の設定は自動 を推奨しています。また、本製品の動作品質を最適化するため、FW(ソフトウェア)は常時最新版で の使用を推奨しています。

トップ画面で[設定]ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

#### ▶ [↓] ボタンで「FW 更新」を選択し、[決定] ボタンを押します。

「FW更新」画面が表示されます。

[変更] ボタンを押します。

「自動」「手動」が切り替わります。 [戻る]ボタンを押すと、FW(ソフトウェア)更新 方法を設定せず、「設定」メニュー画面に戻り ます。

#### 4 画面の内容を確認して [決定] ボタ ンを押します。

FW(ソフトウェア)更新方法が設定され、「設定」 メニュー画面に戻ります。





●FW(ソフトウェア)更新方法が自動に設定されている場合は、自動的にアップ デートを開始します。

# 手動の場合



2 トップ画面で [お知らせ] ボタンを 押します。

「お知らせ」メニュー画面が表示されます。

# **3** [↓] ボタンで「蓄電池 FW 更新」を 選択し、[決定] ボタンを押します。

「蓄電池FW更新」画面が表示されます。

4 [開始] ボタンを押します。 FW(ソフトウェア)更新が開始され、トップ画面 に戻ります。 [戻る]ボタンを押すと、FW(ソフトウェア)更新 せず、「お知らせ」メニュー画面に戻ります。

**り** トップ画面の表示が「FW 更新中」に 変わります。



注意







●FW(ソフトウェア)のアップデート中は充放電は停止します。 ●FW(ソフトウェア)のアップデートには数分間かかります。

# 停電時動作(自立運転の切り替え)の設定

停電発生時の動作(自立運転の切り替え)を設定する場合は、以下の操作を行います。 初期設定は自動切り替えです。

### トップ画面で[設定]ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

# ✔ [↓]ボタンで「停電時動作」を選択し、[決定]ボタンを押します。

「停電時動作」画面が表示されます。

**5** [変更] ボタンを押します。 「自動」「手動」が切り替わります。

[戻る]ボタンを押すと、停電時動作(自立運転の切り替え)を設定せず、「設定」メニュー画面に戻ります。

🗕 [決定] ボタンを押します。

確認画面に"停電時動作を変更してよろしい ですか?"と表示されます。

2018/4/112:0	0	連系運転中
停電時動作		
停電時動作	≕設定: <mark>自動</mark>	/手動
「戻る」		沃定

#### | 画面の内容を確認して [決定] ボタンを押します。

停電時の動作が設定され、「設定」メニュー画面に戻ります。 [戻る]ボタンを押すと、停電時動作(自立運転の切り替え)を設定せず、「停電時動作」画面に 戻ります。

# 自動の場合

停電発生時に自立運転の切り替えを自動に設定している場合は、本製品が以下の動作を行います。

#### 停電発生時(自立運転を始める)

自動で自立運転への切り替えを行います。

#### 復電時(連系運転へ戻す)

停電から復帰すると、自動で連系運転に戻ります。

## 手動の場合

停電発生時に自立運転の切り替えを手動に設定している場合は、以下の操作を行います。

停電発生時(自立運転を始める)





[運転 / 停止] ボタンを押します。 [運転/停止]ボタンが緑点灯、[連系/自立]

ボタンが赤点灯し、自立運転が開始されます。

2018/4/1 17:24 eco     自立手動停止中       停電発生     以下の操作を行ってください。       1 運転/得止ボタンを押す     2約10秒後に重要負荷への出力が可能となります
定了 建系/自立 正式/序』



#### 復電時(連系運転へ戻す)

停電から復帰すると、自動で連系運転に戻ります。

# ネットワークの接続および設定

# 機器の接続

本製品をご家庭で使用するにあたってのインターネット配線と機器接続の構成例を以下に示します。



- ※1 ネットワーク接続を行う場合は、通信性の安定のためご家庭のインターネット回線(有線)での接続を推奨いたします。 その際は、ご家庭の回線終端装置(モデムなど)もしくはルーターへLANケーブルを用いて通信装置(付属品)を接続 してください。ご家庭のインターネット回線を利用しない場合でも、通信装置(付属品)はLTE回線(専用回線)により ネットワーク接続を行います。
- ※2 インターネット回線の契約にかかる工事費、初期費用、月々の利用料金はお客様負担となります。ネットワーク接続に 関わる各種設定は、お客様ご自身で行ってください。

## ネットワークの設定

本製品のネットワーク設定を行う場合は、以下の操作を行います。設定方法は自動を推奨して います。

トップ画面で[設定]ボタンを押します。

「設定」メニュー画面が表示されます。

[↓] ボタンで「ネットワーク設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。 「ネットワーク設定」メニュー画面が表示されます。

[↓] ボタンで「ネットワーク設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。 「ネットワーク設定」(現在の設定)画面が表示されます。 [戻る]ボタンを押すと、「設定」メニュー画面に戻ります。

#### [進む] ボタンを押します。

「ネットワーク設定」(自動/手動設定変更)画面が表示されます。

## 設定を行います。

#### 5-A 自動設定を行う場合

「↓ ] ボタンで「自動設定(DHCP)」を選択 し、[決定]ボタンを押します。

"しばらくお待ちください"の表示が出た後、 IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS の各アドレスを取得すると、「ネットワーク設定」 (現在の設定)画面に戻ります。

「戻る」ボタンを押すと、「ネットワーク設定」 (現在の設定)画面に戻ります。



使用 方法

#### 5-B 手動設定を行う場合

[↓]ボタンで各項目を選択し、[変更] ボタンを押します。

各項目の設定画面が表示されます。

 2018/4/112:00
 連系運転中

 ネットワーク設定

 自動設定(DHCP)

 手動設定(確定)

 IPアドレス
 000.000.000.000

 ネットマスク
 000.000.000.000

 ゲートウェイ
 000.000.000.000

 DNS
 000.000.000.000

[→]で数値、項目を選択し、[値変更]ボタ ンで変更後、「設定値決定」を選択します。 [値変更]ボタンが[決定]ボタンに変わって から、[決定]ボタンを押して設定を終了し、 「ネットワーク設定」(自動/手動設定変更) 画面に戻ります。

2018/4/112:00 ネットワーク設定	連系運転中
000.000.000.000	00
設定値決定	
<b>戻る</b> →	値変更

[↓]ボタンで「手動設定(確定)」を選択し、[決定]ボタンを押します。 [戻る]ボタンを押すと、「ネットワーク設定」(現在の設定)に、もう一度押すと、「ネットワーク 設定」メニュー画面に戻ります。

## 6 通信テストを行う場合は、「ネットワーク設定」メニュー画面で「通信テスト」 を選択し、[決定] ボタンを押します。

「通信テスト」画面が表示されます。

## **7** [実行] ボタンを押すと、通信テスト が開始されます。

終了すると、結果表示画面に移動します。 失敗の場合は、[実行]ボタンを押すと、再度 通信テストが実行されます。 通信テスト失敗の際の表示については「通信 テストに失敗した場合」(P.38~40)をご参照くだ さい。

[戻る]ボタンを押すと、「ネットワーク設定」 メニュー画面に戻ります。



## 通信テストに失敗した場合

通信テストに失敗した場合は、以下のリモコン画面の表示を確認します。



原因表示	原因・処置 LANケーブルの接続を確認します。	
「リモコン本体の通信準備NG」		
「リモコン〜ルータ間の通信NG」	時間なやいてから正在通信ニストな行います	
「ルーター~センター間の通信NG」	时间でのいてから丹皮通信ノスドを打いより。	

再度通信テストを行っても失敗する場合は、以下の手順に従って確認します。確認方法は家庭 内ルーターへの接続の有無によって異なります。

通信装置の接続方法 <sup>※</sup>	確認手順	参照
家庭内ルーターに接続している場合	手順①を確認後、手順②を確認します。	P.39 P.40
家庭内ルーターに接続していない場合	手順①を確認します。	P.39

※接続方法については、「ネットワークの接続および設定」(P.35~37)を参照ください。



されております(P.11参照)。

#### 手順① 通信装置(付属品)の確認

通信装置は専用箱などに設置されています。設置場所については販売店またはエリーパワー カスタマーセンターにご連絡ください。

#### 7 電源ケーブルがコンセントに確実に 接続されているか確認します。

接続されていない場合は、電源ケーブルを コンセントに接続します。



# 2 通信装置(付属品)にアンテナが確実に装着されているか確認します。

無線通信用アンテナは「MAIN」と「AUX」と 表示された端子に装着されています。装着 されていない場合は、通信装置(付属品)に 無線通信用アンテナを装着します。

# 3 通信装置(付属品)の「MODEM」の ランプが点灯しているか確認します。

ランプが点灯していない場合は、通信装置 (付属品)の電源ケーブルをコンセントから抜き、 10秒程度後に再度コンセントに接続しま す。その後、再度「MODEM」のランプが点灯 しているか確認します。





#### 手順② 家庭内ルーターの確認

家庭内ルーターに接続している場合は手順①を確認後、以下の確認を行います。

ネットワークに接続されている家庭内ルーターを確認します。

電源が入っているか、警告ランプが点灯しているかなど、異常な状態でないかを確認します。

※家庭内ルーターに異常がある場合は、家庭内ルーターの取扱説明書をご確認いただき、メーカーやプロバイダーに ご相談ください。

# 2 お手持ちの情報機器を使い、ネットワーク接続を確認します。

リモコンが接続されている家庭内ルーターと同一の家庭内ルーターに情報機器(パソコン /スマートフォン/タブレットなど)を接続し、ネットワーク接続やメールが出来ることを確認します。

#### 上記手順を行っても通信テストに失敗した場合

販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。

使用方法

参照

P.42

P.44

P.46

P.47

P.49

P.50

P.51

P.52

# 実績の確認

発電量/消費量や売電量/買電量などの実績を確認する場合は、以下の操作を行います。

#### トップ画面で[実績]ボタンを押します。

「実績」メニュー画面が表示されます。

# **2** [↓] ボタンで確認したい項目を選択 し、[決定] ボタンを押します。

確認したい項目のメニュー画面が表示され ます。

確認できる項	目
表示	内容
発電量/消費量	発電量/消費量を当日、1時間単位、1日単位、1ヶ月単位で確認できます。数 値、またはグラフでの表示が可能です。
売電量/買電量	売電量/買電量を当日、1時間単位、1日単位、1ヶ月単位で確認できます。数 値、またはグラフでの表示が可能です。
電圧上昇抑制履歴	電圧上昇抑制履歴を順次表示します。履歴の数は最大30件です。30件を超える と古い履歴から削除されます。
電気代換算	消費量、売電量、買電量を電気代に換算して確認できます。 数値、またはグラフでの表示が可能です。 換算用の電気代の設定は、設定メニューで行います(初期状態では換算用の電気 代は、設定されていません)。
環境貢献	発電量をもとに換算した、CO2(二酸化炭素)削減量の年単位の実績を確認できます。 同時に、CO2削減量を樹木の本数や石油消費の節約量に換算した値も確認できます。
省エネアシスト	1ヶ月の省エネ目標消費量に対してどれだけ達成できたかを確認できます。 消費電力の目標値(折れ線グラフ)と実績(棒グラフ)を表示します。

発電開始日からの発電量、消費量、売電量、買電量、自給率の積算が確認できます。

遠隔出力制御の対象の場合は、遠隔出力制御のスケジュールを確認できます。

# 確認

※各項目にて表示される数値は目安です。

発電開始日から

出力制御



## 発電量/消費量の実績を確認する

発電量/消費量を当日(画面表示では今日)、1時間単位、1日単位、1ヶ月単位で確認できます。 数値、またはグラフでの表示が可能です。

トップ画面で[実績]ボタンを押します。

「実績」メニュー画面が表示されます。

【↓】ボタンで [発電量/消費量] を 選択し、[決定] ボタンを押します。

> 「発電量/消費量」メニュー画面が表示され ます。

2018/4/112:00	連系運転中	
実績		
発電量 / 消費量	環境貢献	
売電量 / 買電量	省エネアシスト	
電圧上昇抑制履歴	発電開始日から	
電気代換算	出力制御	
	e = 5	
戻る		
2018/ 4/ 1 12:00	連系運転中	

#### [↓] ボタンで確認したい時間単位を 選択し、[決定] ボタンを押します。

表示	内容	
今日	過去35日分	
1時間単位	過去35日分	
	(36日以前のデータは「1日単位」	
	のデータに書き替えられます)	
1日単位	過去13ヶ月分	
	(14ヶ月以前のデータは「1ヶ月単位」	
	のデータに書き替えられます)	
1ヶ月単位	過去10年分	
	(11年以前のデータは消去されます)	

[戻る]ボタンを押すと、「実績」メニュー画面 に戻ります。 
 2018/4/112:00
 連系運転中

 発電量/消費量
 グラフ
 数値

 グラフ
 数値

 今日
 1時間単位

 1日単位
 1日単位

 1ヶ月単位
 1ヶ月単位

 戻る
 決定

43

使用方法

# 各種設定

# 4 実績を確認します。

<画面例>「今日」の実績です。 「1時間単位」「1日単位」「1ヶ月単位」の場合でも、操作は共通です。

#### グラフ表示

≪電力グラフ≫

発電量/消費量ともに棒グラフで表示します。 発電量と消費量のグラフを同時に表示するため、量の少ない方を手前、多い方を奥に表示 しています。

青:発電量、赤:消費量、

紫:発電量=消費量

①「発電量/消費量」メニュー画面に戻ります。 ②前の期間(前日)の実績に表示を切り替え

ます。

1時間単位の実績=「前日」 1日単位の実績 =「前月」 1ヶ月単位の実績 =「前年」 と表示が切り替わります。

#### 数值表示

≪発電量≫

期間あたりの発電量です。

≪消費量≫

期間あたりの電力消費量です。

≪自給率≫
期間あたりの自給率です。

①「発電量/消費量」メニュー画面に戻ります。
 ②前の期間の実績に表示を切り替えます。
 ③次の期間の実績に表示を切り替えます。



③次の期間(翌日)の実績に表示を切り 替えます。

1時間単位の実績=「翌日」 1日単位の実績 =「翌月」

1ヶ月単位の実績 =「翌年」

と表示が切り替わります。



## 売電量/買電量の実績を確認する

売電量/買電量を当日(画面表示では今日)、1時間単位、1日単位、1ヶ月単位で確認できます。 数値、またはグラフでの表示が可能です。

#### トップ画面で[実績]ボタンを押します。

「実績」メニュー画面が表示されます。

#### 2 [↓] ボタンで [売電量/買電量] を 選択し、[決定] ボタンを押します。

「売電量/買電量」メニュー画面が表示され ます。

2018/4/112:00 連系運転中				
実績				
発電量 / 消費量	環境貢献			
売電量 / 買電量	省エネアシスト			
電圧上昇抑制履歴	発電開始日から			
電気代換算出力制御				
	· · · ·			
反る	, 決定			

#### G [↓] ボタンで確認したい時間単位の 項目を選択し、[決定] ボタンを押し ます。

表示	内容	
今日	過去35日分	
1時間単位	過去35日分	
	(36日以前のデータは「1日単位」	
	のデータに書き替えられます)	
1日単位	過去13ヶ月分	
	(14ヶ月以前のデータは「1ヶ月単位」	
	のデータに書き替えられます)	
1ヶ月単位	過去10年分	
	(11年以前のデータは消去されます)	

[戻る]ボタンを押すと、「実績」メニュー画面 に戻ります。



45

# 各種設定

# 4 実績を確認します。

<画面例>「今日」の実績です。 「1時間単位」「1日単位」「1ヶ月単位」の場合でも、操作は共通です。

#### グラフ表示

≪電力グラフ≫

売電量/買電量ともに棒グラフで表示 します。

売電量と買電量のグラフを同時に表示 するため、量の少ない方を手前、多い 方を奥に表示しています。

緑:売電量、黄:買電量、

オレンジ:売電量=買電量

 売電量/買電量」メニュー画面に戻り ます。

 ②前の期間(前日)の実績に表示を切り 替えます。

1時間単位の実績=「前日」
 1日単位の実績 =「前月」
 1ヶ月単位の実績 =「前年」
 と表示が切り替わります。

#### 数值表示

- ≪売電量≫
  期間あたりの売電量です。
- ≪買電量≫ 期間あたりの買電量です。
- ①「売電量/買電量」メニュー画面に戻り ます。

②前の期間の実績に表示を切り替えます。 ③次の期間の実績に表示を切り替えます。



 ③次の期間(翌日)の実績に表示を切り 替えます。

> 1時間単位の実績=「翌日」 1日単位の実績 =「翌月」 1ヶ月単位の実績 =「翌年」 と表示が切り替わります。



## 電圧上昇抑制履歴を確認する

パワーコンディショナが電圧の上昇を防ぐため、出力を一時的に抑えている電圧上昇抑制機能が 動作した日時を確認できます。

## トップ画面で[実績]ボタンを押します。

「実績」メニュー画面が表示されます。

# 2 [↓] ボタンで [電圧上昇抑制履歴] を選択し、[決定] ボタンを押します。

「電圧上昇抑制履歴」画面が表示されます。



# 使用方法

# ✔ 動作した日時を確認します。

[戻る]ボタンを押すと、「実績」メニュー画面 に戻ります。

2018/ 4/ 1 12:00 電圧上昇抑制	連系運転中
・2018/03/23 13:30-13	3:49
パワーコンディション	ナ1
・2018/03/16 09:56-10	):13
パワーコンディショフ	ナ 2
・2018/03/12 17:31-19	):13
パワーコンディション	ナ1
戻る	

47

連系運転中

# 電気代換算の実績を確認する

消費量、売電量、買電量を電気代に換算して確認できます。数値、またはグラフでの表示が可能です。

# トップ画面で[実績]ボタンを押します。

「実績」メニュー画面が表示されます。

**2** [↓] ボタンで [電気代換算] を選択し、 [決定] ボタンを押します。

「電気代換算」メニュー画面が表示されます。

## **3**[↓] ボタンで表示形式を選択し、 [決定] ボタンを押します。

[戻る]ボタンを押すと、「実績」メニュー画面 に戻ります。

実禎		
発電量 / 消費量	環境貢献	
売電量/買電量	省エネアシスト	
電圧上昇抑制履歴	発電開始日から	
電気代換算	出力制御	
戻る		
2018/4/112:00	連系運転中	
電気代換算		
数值表示		
グラフ表示		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

2018/4/112:00

実績を確認します

#### 数值表示

- ≪消費量換算≫
- 消費量を電気代に換算した値です。 ≪売電量換算≫
- 売電量を電気代に換算した値です。 ≪買電量換算≫ 買電量を電気代に換算した値です。
- ①「電気代換算」メニュー画面に戻ります。
- ②前の期間(4ヶ月前)の実績に表示を切り 替えます。
- ③次の期間(4ヶ月後)の実績に表示を切り 替えます。

#### グラフ表示

- ≪電気代換算グラフ≫ 換算した電気代を棒グラフで表示します。
  - 赤:消費換算、緑:売電換算 黄:買電換算
- ①「電気代換算」メニュー画面に戻ります。 ②前の期間(前年)の実績に表示を切り替え
- このの気間で約4700天順になべてあり自たます。
- ③次の期間(翌年)の実績に表示を切り替え ます。

	2018/4/112:00			連系運轉	三中 )
	電気代換算			2018年	
		消費量 (円)	売電量 (円)	買電量 (円)	
	1月	11000	6300	3600	_
	2月	11500	7500	3450	
	3月	12000	7200	3010	
	4月	9000	6900	3500	
	年間	43500	27900	13560	
	豆ろ		計	<u>\</u>	
		<b>!</b>	ניא		<u>+</u> 1
,					
1	)	2			3



使用

方法

49

使 用· 方

法

連系運転中

決定

3

環境貢献

出力制御

省エネアシスト 発電開始日から

# 環境貢献の実績を確認する

発電量をもとに換算したCO2(二酸化炭素)削減量の実績を確認できます。同時に、CO2削減量を 樹木の本数や石油消費の節約量に換算した環境貢献の実績も確認できます。

### トップ画面で[実績]ボタンを押します。

「実績」メニュー画面が表示されます。

#### 「↓」ボタンで「環境貢献」を選択し、 「決定」ボタンを押します。

「環境貢献」画面が表示されます。

合の、排出CO2の削減量です。

収量に相当するかを表示します。

実績を確認します。

≪CO2削減量≫

≪成木換算≫

≪石油換算≫

#### 2018/4/112:00 連系運転中 環境貢献 2018年 CO2削減量 1148kg-CO2 成木換算 82 本分 石油換算 829L分 戻る 前年 翌年

2

2018/4/112:00

発電量 / 消費量

売電量/買電量

電気代換算

戻る

電圧上昇抑制履歴

実績

CO2削減量の値から、火力発電で使用す る石油をどれだけ節約できたかを求めたも のです。

①「実績」メニュー画面に戻ります。 ②前の期間(前年)の実績に表示を切り替えます。 ③次の期間(翌年)の実績に表示を切り替えます。





X+···



(1)

## 省エネアシストの実績を確認する

1ヶ月の省エネ(節電)目標消費量に対して、どれだけ達成できたかを確認できます。初期設定では、前月の消費量(「前月消費量」)が目標消費量として設定されています。

#### トップ画面で[実績]ボタンを押します。

「実績」メニュー画面が表示されます。

#### **2** [↓] ボタンで [省エネアシスト] を 選択し、[決定] ボタンを押します。

「省エネアシスト」画面が表示されます。



使用方法

## ✔ 実績を確認します。

≪電力グラフ≫

目標値を折れ線グラフ、実績値を棒グラフ で表示します。

赤:実績、青:目標

≪目標値≫

設定した目標消費量(P.26)です。 ≪実績値≫

その月で実際に消費した電力です。

(1)「実績」メニュー画面に戻ります。
 ②前月の表示に切り替えます。
 ③翌月の表示に切り替えます。



51

# 発電開始日からの実績を確認する

発電開始日からの発電量、消費量、売電量、買電量、自給率の積算が確認できます。

# **7** トップ画面で [実績] ボタンを押します。

「実績」メニュー画面が表示されます。

## **2** [↓] ボタンで [発電開始日から] を 選択し、[決定] ボタンを押します。

「発電開始日からの実績」画面が表示され ます。

# 3 実績を確認します。

≪発電量≫

発電開始日からの積算発電量です。

≪消費量≫

発電開始日からの積算電力消費量です。 ≪売電量≫

発電開始日からの積算売電量です。

≪買電量≫

発電開始日からの積算買電量です。

≪自給率≫

発電開始日からの自給率です。

[戻る]ボタンを押すと、「実績」メニュー画面 に戻ります。

			·
	2018/4/112:00		連系運転中
	発電開始日;	からの実績	
	発電量	0000000kWh	1
	消費量	0000000kWh	1
	売電量	0000000kWh	1
	買電量	0000000kWh	1
	自給率	00.0	
	戻る		
(			)

 2018/4/112:00
 連系運転中

 実績
 環境貢献

 発電量/消費量
 環境貢献

 売電量/買電量
 省エネアシスト

 電気代換算
 出力制御

遠隔出力制御のスケジュールを確認する

遠隔出力制御のスケジュールを確認できます。

トップ画面で[実績]ボタンを押します。

「実績」メニュー画面が表示されます。

**2** [↓] ボタンで [出力制御] を選択し、 [決定] ボタンを押します。 2018/4/112:00 実績

遠隔出力制御の「スケジュール情報」画面が 表示されます。

2018/4/112:00	連系運転中
実績	
発電量 / 消費量	環境貢献
売電量/買電量	省エネアシスト
電圧上昇抑制履歴	発電開始日から
電気代換算	出力制御
反る	· 決定 · 決定 ·
【 <mark>2018/ 4/ 1 12:00</mark> スケジュール情幸	 連系運転中 役
2018/4/112:00 スケジュール情幸 スケジュール運用 現在のスケジューノ 固定:18/01/01 - 更新:18/01/01 -	連系運転中 授 : 更新 レ有効期限 19/01/31 23:30 19/01/31 23:30
2018/4/112:00 スケジュール情報 スケジュール運用 現在のスケジュー) 固定:18/01/01 - 更新:18/01/01 -	連系運転中 段 : 更新 レ有効期限 19/01/31 23:30 19/01/31 23:30

スケジュールを確認します。 [戻る]ボタンを押すと、「実績」メニュー画面

に戻ります。

●遠隔出力制御のスケジュールが確認できるのは、遠隔出力制御の対象の場合のみです。
 ●遠隔出力制御については「遠隔出力制御ルールに関するおねがい」(P.11)をご参照ください。

# こんなときは

現象	対処方法	参照
発電電力が極端に低い 日射が十分なのに発電電力が低い	<ul> <li>発電電力は最大でも、太陽電池搭載量の70~ 80%程度が目安です。</li> <li>パワーコンディショナの発電電力に制限がかかっている可能性があります。リモコン表示の状態およびエラーコードをご確認のうえ、お買い上げの販売店に連絡してください。</li> </ul>	P.11 P.16 P.52
充電設定時間外に充電している	●設定した充電時間帯以外でも電池の性能を維持 するため、充電を行うことがあります。	P.20
充電運転時に、分電盤のブレーカーが頻繁 にオフになる	●電力会社との契約アンペアが不足している可能性 があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	P
蓄電池から放電しない	●本製品はダブル発電を防止するため、太陽光発電の売電時は蓄電池から放電しません。	P.19、20
停電発生時に自動で本製品から電力供給 されない	<ul> <li>自立運転を手動設定にしている場合は、表示 ディスプレイの指示に従って自立運転に切り替えて ください。</li> <li>蓄電システム用コンセントのみに電力が供給され ます。停電時にその他のコンセントは使用できま せん。</li> <li>電力供給開始まで約10秒かかります。</li> </ul>	P.34 P.12、13 P.21
停電中に接続機器が途中で使えなくなった	●停電発生時に使用できる電力は最大で2.0kW までです。また、蓄電池ユニットからの電力供給 がなく、太陽電池で発電した電力のみを使用する 場合は、天候により出力が不安定になることが あります。消費電力が使用できる電力を上回った 場合、本製品は安全のため自動的に運転を停止 し電力供給をしゃ断します。このようなときは、接続 機器を減らすことにより、継続使用できる場合が あります。	P.21
発電量/消費量や売電量/買電量などの 実績をリセットしたい	●設定が変わると正常運転しなくなるおそれがある ため、お買い上げの販売店またはエリーパワー カスタマーセンターにご相談ください。	P

こんなときは

現象	対処方法	参照
<b>リモコンに「〇〇抑制」と表示された</b> 2018/4/110:00 ##17 連系運転中 2.50m 0.10m 第2 0.50m 8.10m 第2 5.10m 第2 5.10m 第2 5.10m 第2 5.10m 第2 5.10m 第2 5.10m 第2 5.10m 第2 5.10m 第2 5.10m 第2 5.10m 第3 5.10m 第3 5.10m 第3 5.10m 第3 5.10m 第3 5.10m 7	<ul> <li>●「○○抑制」は電圧や温度の上昇により表示されます。表示中は出力が制限されます。</li> <li>●「○○抑制」が頻繁に表示される場合は、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。</li> </ul>	P
リモコンに「保護機能動作」と表示されカウント ダウンが始まった         2018/4/1 21:03 排17       連系準備中         保護機能動作         パワーコンディショナ         連系保護機能が動作         しています。発電開始まで         295 秒です。	<ul> <li>カウントダウン終了後に自動で通常動作に戻ります。蓄電池ユニットから放電中、家庭内の消費電力が急激に変動した場合に、保護機能<sup>※</sup>が働き一定時間連系運転を停止します。</li> <li>【消費電力の変動が大きい電気機器の例】 ・一部のHクッキングヒーター・ ・H炊飯器・ ドライヤーなど</li> <li>頻繁に表示される場合は、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。</li> <li>※蓄電池の電力は売電することができないため、売電を防止する機能</li> </ul>	P
太陽電池を併設している場合で、リモコンの 発電量の表示が少ない	<ul> <li>本製品以外の発電設備を併設している場合は、</li> <li>本製品のリモコンには併設されたシステムの発電量は反映されません。</li> <li>また、トップ画面の各電力値が正しく表示されない場合があります。</li> <li>※「消費」の電力値は非表示となります。</li> </ul>	P.17
リモコンの消費量の表示が「ーーー」と なる	●本製品以外の発電設備を併設している場合は、 「消費」の項目は非表示となります。	P.17

# エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが表示ディスプレイに表示されます。 メッセージに従って対応してもエラーメッセージが表 示される場合は、お買い上げの販売店またはエリー パワーカスタマーセンターにご連絡ください。ご連絡の 際は、表示されたエラーコードをお伝えください。

エリーパワーカスタマーセンターからDCスイッチ カバー内部のDCスイッチ操作をお願いする場合 があります。その際は下記注意と「各部の名称」 (P.14)をご参照ください。

2018/4/1 21:03 オサイフ	連系準備中
エラー報告	
パワーコンディショナ	
パワーコンディショナ内音 しました。5 分が経過して 消えない場合はカスタマー ご連絡ください。	『の異常を検知 「もこの表示が -センターへ
	h31
戻る	





※1 リモコン表示の"カスタマーセンター"は"エリーパワーカスタマーセンター"を表します。 ※2 "④エラーコード"はお問い合わせの際に必要となります。

①状態	②故障部位	③エラーメッセージ
		パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。カスタマーセンターへご連絡 ください。
	パワーコンディショナ	パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。5分が経過してもこの表示 が消えない場合はカスタマーセンターへご連絡ください。
エラー報告	蓄電池ユニット	パワーコンディショナの温度が高くなっています。周囲の確認をお願いします。 対処してもこの表示が消えない場合はカスタマーセンターへご連絡ください。
		蓄電池ユニットの異常を検知しました。異常要因が解決された後自動復帰し ます。翌日もこの表示が消えない場合はカスタマーセンターへご連絡ください。
		蓄電池ユニットの異常を検知しました。カスタマーセンターへご連絡ください。
		蓄電システム用コンセントに接続した機器の消費電力が出力可能な電力より 大きくなっています。接続機器を減らして消費電力をさげてください。
保護機能動作	パワーコンディショナ	商用電源の異常を検知しました。正常に戻ってから約5分で運転再開し ます。5分が経過してもこの表示が消えない場合はカスタマーセンターへ ご連絡ください。
		太陽電池の出力電圧が高くなっています。この表示が消えない場合は カスタマーセンターへご連絡ください。
		商用電源の異常を検知しました。5分が経過してもこの表示が消えない場合 はカスタマーセンターへご連絡ください。
状態	パワーコンディショナ	日射不足です。日射が回復するまでお待ちください。
使用期限 残期間少	蓄電池ユニット	設計上の使用期限を間もなく迎えます。 点検が必要です。 カスタマー センターへご連絡ください。

こんなときは

# 異常や故障が発生したとき

蓄電システム本体から異常な音や臭い、煙などが発生した場合やリモコンが機能不全となった場合は、 ただちにお買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。連絡後は、 本製品には触らないでください。感電やけがのおそれ、本製品の故障の原因になります。

#### ご確認ください

分電盤、分電盤の蓄電システム用ブレーカーの位置は、お買い上げの販売店または設置工事を行った電気工事業者 に本製品を使用前にご確認ください。 機器の引き渡しを受けた際に説明を受けられていない場合、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマー

## 運転を停止したい場合

センターへご確認をお願いします。





●本製品は、運転を停止しても待機電力を消費します。

- ●本製品、および分電盤の主幹ブレーカーや蓄電システム用ブレーカーは長期間オフの状態にしないでください。
- ●長期間使用しない場合の対応については、次項の「長期間使用しない場合の 対応について」を参照してください。

#### 運転を再開したい場合

/!

注意

上記手順で運転を停止した後、再度[運転/停止]ボタンを押して、本製品の運転を再開します。

# 長期間使用しない場合のおねがい

#### 本製品を長期間使用しない場合のおねがい

本製品を長期間使用しない場合は、主幹ブレーカー、蓄電システム用ブレーカーおよび本製品の電源をオフにせず、連系運転中<sup>\*\*1</sup>の状態を継続してください。

理由は以下の通りです。

- ●電池は一般に自己放電があります。また、本製品は、使用していない場合でも待機電力が 必要となります。長期間使用しない場合は、電池が完全に放電してしまうことがあります。
- ●連系運転中は、蓄電池に貯めた電力を使い切った場合に、自動的に電池に充電を行う 機能が搭載されています。しかし、連系運転中以外の状態の場合は、本製品への充電が 行えず、保護機能が働き、「異常停止」の状態となる場合があります。

やむを得ず本製品を完全に停止したい、もしくは「異常停止」の状態となった場合は、お買い 上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。弊社指定作業者に よる現地作業<sup>\*2</sup>が必要となる場合があります。

※1 連系運転中については「表示ディスプレイの見方」(P.16)、「通常時(連系運転)・停電時(自立運転)の動作」(P.19~ 21)をご参照ください

※2 有償での対応となります。

# 製品の移設・譲渡・利用の終了について

#### 本製品の修理や移設、再設置が必要となる場合のおねがい

お客様自身による本製品の修理や移設、再設置は絶対に行わないでください。また、このよう な作業が必要となる場合には、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターに ご相談ください。

本製品は、運転を停止しても蓄電システム本体には電圧が残っていますので、感電やけがのおそれ、火災、蓄電システム本体およびリモコンの故障の原因になります。

#### 本製品もしくは本製品を設置している建物を譲渡される場合のおねがい

本製品もしくは本製品を設置している建物の譲渡については、お買い上げの販売店または エリーパワーカスタマーセンターにご連絡ください。また、譲渡の際は電力会社への連絡も 必要となりますので、以下「本製品の利用を終了するなどの場合の電力会社へのご連絡の おねがい」も合わせてご確認ください。

#### 本製品の利用を終了するなどの場合の電力会社へのご連絡のおねがい

本製品は、系統連系を行うシステムのため、以下のような場合には、お客様ご自身が契約 されている電力会社に届出を行う必要があります。 詳しくは、お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご相談ください。

【電力会社への連絡が必要となる場合の例】 ①本製品の建物からの取り外しや移設を行う場合 ②建物の譲渡に伴う電力会社との契約者名義変更が発生する場合 ③本製品の使用を終了する場合

#### 本製品がご不要になった場合の対応について

本製品は、リチウムイオン電池を使用しています。また、使用済みリチウムイオン電池を適正 かつ安全に処理するためには、専門知識と設備が必要となります。そこで、本製品がご不要に なった場合には、エリーパワー株式会社にてお引き取りいたしますので<sup>\*1\*2</sup>、お買い上げの 販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご相談ください。

※1 有償での対応となります。

※2 お引き取りにあたっては、事前に所定事項の確認などをさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

#### 【補助金を受けられた方へ】

補助金を受けられた場合は原則として、本製品をご不要とされる前に、法定耐用年数以上の期間、本製品を継続して使用いただく事が必要となります。法定耐用年数の期間以内に本製品を使用しなくなる場合には、事前に手続きが必要です。詳しくは、補助金交付団体へご確認ください。

# 定期点検について

電気事業法ではシステムの保安の確保のため、システム保持義務をお客様に求めております。 エリーパワー株式会社では、本製品を長年安全に使用いただくために、年に一回程度で、お客様 ご自身での定期点検を推奨しています。詳細については、お買上げの販売店にご相談ください。 定期点検につきましては、本書裏表紙にある「定期点検表」をご活用ください。

# お手入れ方法

本製品を長年ご利用いただくため、定期的なお手入れをお願いします。

# リモコンのお手入れ

日常のお手入れでは、乾いたきれいな布で拭いてく ださい。汚れがひどい場合は、水か中性洗剤を布に 含ませ、よくしぼってから拭きとってください。 表示ディスプレイを拭くときは、故障や破損の原因と なりますので、強い力をかけないようにしてください。





# 蓄電システム本体のお手入れ

#### 蓄電システム本体の据付け状態を確認する

地震や強風により、蓄電システム本体の固定にゆるみなど異常が発生することがあります。そのままの状態で使用した場合、蓄電システム本体の転倒によるけが、蓄電システム本体の故障の原因になります。

据付け状態に異常がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

#### 蓄電システム本体の周囲に落ち葉が たまらないようにする

周囲に落ち葉などがあると小動物や虫などが集まり やすくなります。

小動物や虫などが蓄電システム本体に侵入して内 部の電気部品に触れると、火災や故障の原因になり ます。



保証とアフターサービス

#### よくお読みください



お買い上げの販売店またはエリーパワーカスタマーセンターにご相談ください<sup>※1</sup>。 本書裏表紙に販売店名などの記入欄があります。お買い上げの際に記入されると便利です。

修理を依頼される前に、まず本書の「こんなときは」でご確認ください。 保証書をお手元にご用意いただき、下記内容をご連絡ください。また、『パワーイエ・ファイブ・ リンク ごあんしんサービス』にご加入いただいている場合は、エリーパワーカスタマーセンター にて下記内容の確認が可能です<sup>\*\*2</sup>。

●製 品 名:パワーイエ・ファイブ・リンク
 ●型式/製造番号:お買い上げの型式および製造番号をお伝えください<sup>※3</sup>。
 ●保 証 開 始 日:保証書に記載の保証書開始日をお伝えください。
 ●故 障 の 状 況:できるだけ具体的にお伝えください。

- ※1 太陽電池については、エリーパワー株式会社による修理の対象外となります。太陽電池に関する修理につきましては、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- ※2ご加入時に上記内容をご登録いただいている場合に限ります。
- ※3 型式および製造番号は、保証書または製造番号ラベルに記載されています。

#### 製造番号ラベル貼付位置と見方

修理を依頼される際に必要となる型式および製造番号は、以下の位置に貼付されている製造番号 ラベルにて、型式と製造番号をご確認ください。

パワー コンディショナ	蓄電池ユニット
システム製造番号ラベル	蓄電池ユニット製造番号ラベル
POWER iE 5 Link EPS-305 • 型式 Power CONDITIONER EPS-30P 製造番号:	POWER iE 5 Link BATTERY 製造番号: リーパワー株式会社 ELIIY Power CO., Ltd. EES-30B BATTERY シーマンンクー株式会社 ELIIY Power CO., Ltd.
製造年: ELIIY Power CO., Ltd.	製造番号

## 保証期間中の修理について

保証期間中は、保証書の修理保証規定に従って修理保証を提供します※。

エリーパワー株式会社またはエリーパワー株式会社が定めた販売店、施工店以外により設置が 行われた製品は、修理保証の対象外となるため、修理自体をお断りさせていただくことがあります。 ※修理保証が適用されない場合には有償での対応となります。

## 保証期間終了後の修理について

保証期間終了後は、ご要望により有償にて診断・点検、修理などをさせていただきます。 修理料金は次の内容で構成されています。

修理料金					
点検・診断作業料	弊社指定作業者による訪問料、本製品の点検・診断に伴う技術料、交換、修理 作業料の見積作成などの費用				
修理作業料	弊社指定作業者による訪問料、本製品の修理に伴う部品交換または代替品との 交換作業料、修理に伴う技術料などの費用				
交換部品代または代替品代	交換部品代または代替品代および補助材料費				
訪問に伴う実費	弊社指定作業者を派遣する費用				
運送費	交換部品または代替品の運送費(梱包費を含む)				

## 補修用性能部品の保有期間について

エリーパワー株式会社では、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、 製造終了後7年間保有しています。

# POWER iE5 Link

項目							基本	~仕様
型						式	EPS-30S	EPS-30D
蓄	電	池	ユ	=	ッ	ト 数	1台(5.4kWh)	2台(10.8kWh)
出	カ	定格 可能	出力 時間	自立	運転	(停電時)	120分	240分
入	力	充	電	,	時	間	3~4時間程度 <sup>※1</sup>	6~8時間程度 <sup>※1</sup>
		周	囲		温	度	-20~40°C <sup>**2</sup>	
使用   (IJŦㄱ	環境	湿				度	5~95%RH <sup>**3</sup>	
通信装	。 置除く)	使	用		場	所	屋外 <sup>※4</sup>	
		仕		向		地	日本国内	

※1 温度など電池状態により変動。

※2 周囲温度33℃以上の場合、保護機能によりパワーコンディショナの出力を抑制することがあります。

※3 氷結、結露が付かないこと。 ※4 重塩害仕様は受注生産。

## パワーコンディショナ

	項目	3		基本仕様
型			式	EPS-30P
+ /+	<b>寸</b>		法	幅487 x 奥行200 x 高さ681mm(取付金具、突起部を除く)
	質		量	30kg
		連系運転(通常	]時)	単相2線 202V(単相3線式配電線に接続)
	山刀电圧	自立運転(停電	〔時〕	単相2線 101V ± 5V
出力	定格出力	連系運転(通常	時)	5.8kVA(5.5kW)
	<b>※</b> 1	自立運転(停電	[時)	最大2.0kVA(2.0kW)
	周	波	数	50 / 60Hz
入力	定格	入力電	圧	単相2線式(単相3線に接続) 100/200V
(系統)	定格	周 波	数	50 / 60Hz
系統	定格	入力電	圧	単相2線式 100V
入力2	定格	入力容	量	2.0kVA
	最 大	入力電	力	6.45kW
入力	MPP	⊤ 電 圧 範	囲	DC80~435V
(太陽電池)	最大ス	トリング	数	3 <sup>**2</sup>
	最 大	入力電	流	12.5A
運	 転 モ	_	ド	おサイフ / eco / バックアップモードの3種類

※1 蓄電池ユニットからの最大出力は2.0kWのため、蓄電パワコンとして使用する場合も同数値です。 ※2 ストリングあたり2.15kW。

## 蓄電池ユニット

			項	目				基本仕様
型							式	EPS-30B
雷	淮	甂		池	容		量	5.4kWh <sup>*1</sup> (1台あたり)
Ē	76	鮰		池	種		類	リン酸鉄リチウム
+	<i>(</i> +	寸					法	幅550 x 奥行300 x 高さ991mm(脚カバー、突起部を除く)
<b>一</b> 本	144	質					量	106kg
外	部							
イン	ター	L	А	Ν	ポ	_	۲	あり
フェ	ース							
適合	規格	蓄			電		池	TUV-S、JISC8715-2

※1 初期実効容量4.8kWh(JEM規格 JEM1511による)。

# リモコン

			項	〔 目				基本仕様
型							式	ZREM-35ELB02
+	4	寸					法	幅130 x 奥行23×高さ120mm
4	144	質					量	260g
外	部							
イン	ター	L	А	Ν	ポ	_	۲	கடி*1
フェ	ース							

※1 ECHONET Lite 規格書 Ver.1.10 APPENDIX ECHONET機器オブジェクト詳細規定 Release H対応。D-HEMS、AiSEG2対応。

# 通信装置(付属品)

		項目	基本仕様
型		式	R2100
+	4	寸 法	幅100 x 奥行48×高さ125mm <sup>※1</sup>
4	144	質量	500g <sup>**1</sup>

※1 アンテナ、ACアダプタを除く。

# 定期点検表(必要枚数をコピーしてお使いください)

エリーパワー株式会社では、本製品を長年安全にご使用いただくために、年に一回程度で、お客様ご自身 での定期点検をおすすめしています。詳細については、お買上げの販売店にご相談ください。下記点検表 を必要枚数コピーして日付と状態の記入にご使用ください。

点検対象	点検項目	点検内容	//	//	//	//	//	参照
周囲環境	ほこり、ガス	可燃性ガスや引火性溶剤 が近くにないか						P.5
	温度、湿度	放熱スペースが確保されて いるか						P.14
機器の状態	外観	据え付け状態に異常はな いか						P.59
		配管が外れたり破損して いたりしないか						P.4
	異常音	通常と異なる音が発生し ていないか						P.4
	におい	異臭などがないか						P.4
リモコン	エラー表示	エラー報告画面が表示 されていないか						P.55

# ELIIY Power

#### エリーパワー株式会社

本 社:東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勧業ビルディング19階 関西事業所:大阪市中央区南船場3-6-10 エミネント心斎橋ビル3階



9996818165 発行日:2018年4月

●このユーザーマニュアルの内容は、改良のため予告なく変更することがあります。●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。●本書に 記載のイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なります。●無断転載を禁じます。●落丁、乱丁本は、お取り替えします。●エリー パワー、ELIIY Powerおよびパワーイエ、POWER iEの名称・ロゴはエリーパワー株式会社の登録商標または商標です。●「ECHONETLite」はエコー ネットコンソーシアムの商標です。●エネファームは東京ガス(株)・大阪ガス(株)・JX日鉱日石エネルギー(株)の登録商標です。●記載の製品名および 会社名は各社の商標または登録商標です。